



たくましい村松っ子

令和7年7月18日 第7号
文責：校長 日高 文博

夏休みの生活目標：安全第一、健康第一で「挑戦」の夏にしよう！

終業式 明日から夏休み！

1学期が、本日をもって終了いたします。保護者の皆様には、本校の教育活動に対しまして、御理解と御支援を賜りますとともに、常に学校のため、子どもたちのために献身的に動いていただきました。おかげ様で無事に1学期のゴールを迎えることができました。温かいご支援をありがとうございました。

今年は、例年になく梅雨明けが早かったため、暑い日が多く、熱中症の心配も多かった1学期でした。また、近年は「過去に経験したことのないような大雨」といったフレーズをよく耳にします。学校と家庭において、他の自然災害への備えもあわせて怠らないようにしていきたいと思えます。

ところで、学校では、一人ひとりの子どもに確かな成長がありました。そのことは、本日、子どもたちに渡しました「のびる子」に記しております。保護者の皆様には、どうか子どもと一緒にじっくり御覧になり、まずは良さや頑張りを大いにほめていただきたいと思います。改善点があれば、方策等を一緒に考え、励ましていただければ、一層やる気になるものと考えます。よろしくお願ひします。

さて、明日からは、44日間という長い休みに入ります。私たちの願ひは、次のことにつきます。

けがなく 事故なく 事件なく 命を大切に 元気に過ごす

絶対に命を落とすことのないよう、自分の命は自分で守るということを一人ひとりが肝に銘じてほしいと思えます。

また、夏休みならではの素晴らしい体験を積む「挑戦の夏」にしてほしいと願っています。特に、実際に「見たり」「聴いたり」「触れたり」「味わったり」「嗅いだり」するなどの五感を駆使した活動に取り組んでほしいと思えます。

あわせて、学習にも力を入れてほしいです。44日間の積み重ねが確かな学力の定着につながるからです。自分が取り組むこと（目標）を決めて、そこに向けて自分の力を一杯使ってほしいと考えます。9月に力が高まった村松っ子に会うことを楽しみにしています。

この夏が子どもたちと皆様にとりまして、素晴らしいものになることを願っています。終業式では、次のような話をしました。

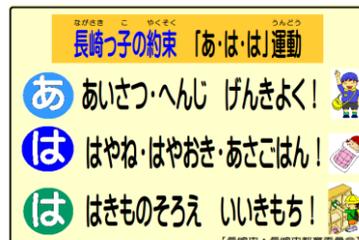
全校のみなさん、気持ちのよい挨拶を交わしましょう。おはようございます。

今日で1学期が終わります。みなさんにとって、どんな1学期でしたか？

私が最も心に残ったのは、運動会です。それぞれの頑張りはもちろん、学級や学年、それから赤組・青組・黄組、何より学校全体の団結力、村松っ子の力を強く感じました。先生方の団結力も子どもたちに負けず見事でした。運動会の練習を通して、開会式や閉会式での話の聞き方がグンと上手になりました。それが、今こうして体育館に集合したときの話の聞き方にも表れています。高学年は前からすばらしかったですが、それが下級生へと広がっています。1年生の話の聞き方もとても立派になりました。

また、1学期の始めにみんなで頑張ろうと掲示していた、**遊び自慢**、**働き自慢**、**学び自慢** についても素晴らしかったです。遊び自慢では、朝から元気に運動場で遊んでいましたね。元気いっぱいみんなを見てうれしかったです。働き自慢では、掃除の前に黙想をしてみんなで真剣に掃除ができました。おかげで学校がとてもきれいになりました。学び自慢では、どの学年も自分たちの学習を一人ひとりが途中であきらめず最後まで頑張って力を伸ばすことができました。みんなの成長がとてもうれしいです。

さあ、明日から待ちに待った夏休みです。いろいろな楽しいことが待っていることと思えます。そ



んな、うれしい夏休みを前に、私から、みなさんに「こんな夏休みにしてほしい」という話を2つします。

1つ目は、「命を大切に作る夏」にしてほしいというお話です。

命は「だいじ」という話は、心を見つめる集会で伝えたとおりです。夏休みは楽しいこともたくさんありますが、危険なこともあります。今年も、暑い夏になりそうです。毎日のように熱中症のニュースが流れています。他にも「水の事故」「自然災害」「交通事故」そして、まだまだ油断できないコロナウイルス感染症など、挙げると身の回りには危険は少なくありません。でも、自分で命を守る正しい方法をちゃんと身に付けている、みなさんなら大丈夫です。危険を感じたら、自分の頭で考え、場合によっては、近くの大人に助けを求めるなど、正しい判断をして、命を守る行動をとりましょう。詳しくは、この後の時津先生からの生活指導の話、それから担任の先生の話聞いてもう一度、確認してください。

2つ目は、「挑戦の夏」にしてほしいというお話です。

夏休みは学校を離れ、家庭や地域で過ごす期間です。学校では時間割があり、みんなと同じ学習をしますが、夏休みは時間割はありません。自分のくらしは自分で創るのです。どんな夏休みになるかは自分次第です。長いと思っても、何もやらないとあっという間に夏休みは終わってしまいます。それでは、もったいないです。

そこで、日頃できないこと、夏休みだからできることに挑戦してほしいと思います。学習に関係することでもよし。好きなことをとことん調べて研究したり、作ったりするもよし。これまでやったことがないことをやってみる体験型の挑戦も考えられますね。何に挑戦するかは一人一人違います。違うからこそ面白いのです。夏休みが終わった後、「こんなことに挑戦しました!」「こんなものができました!」という報告を楽しみに待っています。

さあ、自分で創る、一生に一度の2025年の夏休みが始まります。9月1日に、全員が元気で、笑顔で、この場に集まることを約束してお話を終わります。

児童代表の言葉

終業式では、2年生の2名が児童代表の言葉を述べました。2人とも自分の学校生活を振り返り、立派に発表することができました。原文を紹介します。

1 学きにがんばったこと

2年1組 ○○○○

わたしは、一学きにがんばったことが3つあります。

一つ目は、ミニトマトのおせわをがんばりました。わきめをとったり、びょうきのはっぱや絵かき虫のはっぱをとったりしました。もちろん、水やりもしました。そして、家にかえてみんなで食べると、おかあさんが、ミニトマトのことを「りんごみたいなあじ」とほめてくれました。

二つ目は、図書しつに行ったことです。がんばろうと思わなくても、あっというまに、80さつちかくかりていました。じぶんでもびっくりしました。

三つ目は、かかりのしごとです。わたしは、プリントがかりをしています。休みじかん、いつもしっかりプリントをとりに行っています。きょうしつにもどって先生にわたすと、先生が、「いつもありがとう。」とほめてくれました。うれしかったです。

二学きは、スリッパならべをがんばりたいです。りゅうは、スリッパならべをしたときに、ならんでいないといやなきぶんになることをしたから、がんばりたいです。二学きにそれをできるとうれしいです。できるように、家でも夏休み中、れんしゅうします。

2年生の一学きをすごして

2年2組 ○○○○

わたしは、2年生でたのしかったことと、がんばったことをはっぴょうします。

たのしかったことは、新しいクラスの友だちとあそんだことです。ひる休みに、おにごっこやかくれんぼをして、友だちがふえました。これからも友だちを大切にします。

がんばったことは、かん字です。毎日、新しいかん字を5こずつれんしゅうしました。むずかしい字もありましたが、くじけずにれんしゅうしました。夏休みも、たくさんれんしゅうをして、かん字のテストで百点とりたいです。

二学きもがんばりたいことがあります。さんすうで百点をとることです。長さやかさでは、新しいたんいが出てきました。二学きも新しいことをたくさん学ぶと思います。分かるまで、あきらめずに、考えを話し合っ、たのしく学びます。